

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆日銀の物価見通し、26年度前半にかけ2%割れ

・日銀は金融政策決定会合後に、10月の「経済・物価情勢の展望(展望レポート)」を公表。コメなど食料品価格上昇の鈍化を背景に、生鮮食品を除く消費者物価指数(CPI)の前年比上昇率は「2026年度前半にかけて、2%を下回る水準まで縮小していく」との見通しを示した。25年度の物価見通しは2.7%、26年度は1.8%、27年度は2.0%。

◆教育無償化、2000億円膨張も 授業料以外の支援拡大で自維公合意

・自民、日本維新の会、公明の3党は教育無償化に関する実務者協議で、低所得世帯の高校生向け奨学給付金の対象を拡大する方針で合意した。出席した自民党の柴山昌彦氏は必要額が従来より2000億円ほど膨らむと明らかにした。給食費無償化とあわせて総額8000億～9000億円になる可能性がある。

◆クマ駆除ハンターを公務員に 環境省、交付金で人材育成と定着後押し

・政府はクマによる人身被害の対策をてこ入れする。環境省は自治体がハンターを職員として雇うための交付金を2025年度内に新設する。農林水産省などと作成した対策パッケージに盛り込む施策も増やす。30日に関係閣僚会議を開いた。木原稔官房長官が「クマ被害対策施策パッケージ」を11月中旬までにまとめると表明した。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆4～9月の建機出荷額微減 国内で人手不足、北米輸出落ち込み

・日本建設機械工業会が発表した4～9月の建設機械出荷額は前年同期比0.2%減の1兆6795億円だった。輸出向けが欧州などで伸びたものの、国内向けが人手不足やレンタル向けの投資控えがあったためマイナスとなり全体で微減となった。国内は6.7%減の4797億円。9月単月では輸出向けと国内向け合わせて7%増の3055億円だった。

◆積水化学の純利益12%減に下方修正 26年3月期、EV市況低迷で

・積水化学工業は2026年3月期の連結純利益が前期比12%減の720億円になりそうだと発表した。従来予想を100億円下回る。米国や中国のメディカル事業で検査薬の需要が想定を下回る。電気自動車(EV)市況の低迷に伴い自動車ガラス向けの素材の販売も落ち込む。売上高は2%増の1兆3232億円、営業利益は2%増の1100億円を見込む。

◆国内建設受注額、製造業は4.6%減 コスト急増で武田薬品は計画見直し

・業界団体の日本建設業連合会(日建連)が発表した2025年4～9月の国内建設受注額は前年同期比19.5%増の9兆4152億円だった。このうち民間の製造業分は4.6%減と2年ぶりに下落した。企業の設備投資意欲は強い一方、コスト増や人手不足から受発注額が折り合わない。武田薬品工業などは建設計画の見直しに動く。

《 注目商品 》

■トクラス、新時代の水まわり「Noare(ノーレ)」

・浮遊感のあるデザインのフロートタイプや、椅子に座りゆったりとした時間を過ごせる片側オープンプランなど。「マルチユースベッセル」ボウルを採用。小物の仮置き・飾り棚に使えるデザインシェルフや扉と同色に揃えることもでき、まとまり感のあるスタイルを実現。



■ウッドワン、無垢の木のキッチンに国産材の桧を追加 「su:iji(スージー)」

・家具のような無垢の木のキッチンに、12年ぶりの新樹種として国産材の桧(ヒノキ)の扉をラインナップ。ニュージーパイン、オーク、メープル、ウォールナットに桧を追加し、全5種類となった。扉には、水や菌に強い国産の桧の柃目で無節の材を採用。



■ミラタップ 横幅のミリ単位オーダーが可能なキッチン

・横幅をミリ単位で指定できるセレクトオーダーキッチン「Altina(アルティナ)」の販売を開始。レイアウトはアイランド型・壁面Ⅱ型・ペニンシュラ型・L型の4種類、天板はステンレスやセラミックなど27種類、扉面材は58種類から選べ、5万通り以上の組み合わせが可能。

